

令和4年度 音楽総合学科 カリキュラムマップ

〔音楽療法コース〕

到達目標

1 [知識・理解]

音楽の基礎的な理論や曲の生まれた背景を理解し、人に音楽を伝えるための知識を修得することができる。

(1) 対象者の年代に合った曲を提供できその時代背景についての知識を修得する。

2 [思考・判断・表現]

音楽演奏や教育を行うにあたって必要な理論を適切に判断し、相手の理解に応じて伝え、必要に応じて教えることができる。

(1) 音楽療法の活動目標について論理的に計画および説明ができる。

3 [技能]

音楽の専門家としての情報収集能力と技術をもち、関係職種と連携できるコミュニケーション能力がある。

(1) 治療目的に沿った実践を関連職種と連携して行い記録することができる。

4 [関心・意欲・態度]

常に自己資質の向上をめざし、積極的に音楽を通じて人とコミュニケーションを取ろうとする意欲がある。

(1) 常に学び続ける姿勢を持ち地域福祉に貢献する意欲を持つことができる。

① [知識・理解]			② [思考・判断・表現]			③ [技能]			④ [関心・意欲・態度]				
1年次							2年次						
科目	期	科目名	①	②	③	④			科目名	①	②	③	④
専門科目	前期	音楽心理学	◎	○	△	◎	専門科目	前期	臨床における即興技法Ⅰ□	◎	◎	◎	△
		発達心理学	◎	◎	○	○			音楽療法・臨床□	◎	◎	△	△
		子どもの保健	◎	○	△	△			音楽療法実践Ⅲ□	◎	○	○	◎
		教育原理	◎	○	○	△			卒業論文Ⅰ	○	○	○	◎
		音楽療法実践Ⅰ	△	◎	◎	△			ヴォーカルⅢ	○	◎	◎	△
		音楽理論Ⅰ	◎	○	-	○			ソルフェージュⅢ	◎	○	○	△
		音楽史Ⅰ	◎	○	○	○			鍵盤楽器Ⅲ	○	◎	◎	○
		ヴォーカルⅠ	○	◎	○	○			和太鼓Ⅰ	△	○	◎	○
		ソルフェージュⅠ	◎	○	△	○			作譜	◎	◎	△	△
		鍵盤楽器Ⅰ	○	◎	◎	○			生涯スポーツⅠ	◎	○	○	◎
		和声法Ⅰ	◎	○	○	△			ピアノ指導法Ⅰ	○	◎	△	◎
		音楽総合特講Ⅰ	◎	◎	○	○			グレード対策A(ピアノ)Ⅲ	○	○	◎	◎
	後期	音楽療法演習	○	○	◎	◎		後期	グレード対策BⅢ	◎	◎	○	△
		音楽療法・基礎	◎	◎	△	△			グレード対策A(電子オルガン)Ⅲ	○	○	◎	◎
		音楽療法実践Ⅱ	△	◎	◎	◎			グレード対策応用Ⅰ	◎	○	○	△
		音楽理論Ⅱ	◎	○	-	○			音楽総合特講Ⅱ	○	○	◎	◎
		音楽史Ⅱ	◎	○	○	○			臨床における即興技法Ⅱ□	◎	○	◎	△
		ヴォーカルⅡ	○	◎	○	○			音楽療法・技法□	◎	◎	△	△
		ソルフェージュⅡ	◎	○	△	○			音楽療法実践Ⅳ□	◎	○	○	◎
		鍵盤楽器Ⅱ	○	◎	◎	○			臨床実習(事前・事後指導を含む)□	◎	△	△	◎
		和声法Ⅱ	◎	○	○	△			卒業論文Ⅱ	○	○	○	◎
		音楽総合特講Ⅱ	◎	◎	○	○			特別支援教育□	◎	○	◎	○
		スポーツ・レクリエーションⅠ	◎	○	○	◎			社会福祉	◎	◎	△	○
		公務員・一般職試験対策Ⅰ	◎	◎	○	△			ヴォーカルⅣ	○	◎	◎	△

			生涯スポーツⅡ	○	○	○	◎
			ピアノ指導法Ⅱ	○	◎	○	○
			楽曲研究	◎	○	○	○
			ピアノ・電子オルガン特講	◎	○	○	○
			グレード対策 A(ピアノ)Ⅳ	○	○	◎	◎
			グレード対策 BⅣ	◎	◎	○	△
			グレード対策 A(電子オルガン)Ⅳ	○	○	◎	◎
			グレード対策応用Ⅱ	◎	○	○	△
			□印は資格必修だが卒業必修ではない				